

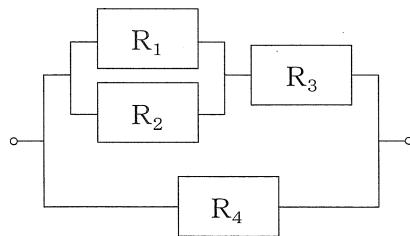
平成19年度技術士第一次試験問題〔基礎科目〕

基礎科目

I 次の1群～5群の全ての問題群からそれぞれ3問題、計15問題を選び解答せよ。(解答欄に1つだけマークすること。)

1群 設計・計画に関するもの (全5問題から3問題を選択解答)

I-1-1 下図のような系において、各構成要素の信頼度が、 $R_1=0.9$ ,  $R_2=0.8$ ,  $R_3=0.5$ ,  $R_4=0.7$ のとき、この系の信頼度を求め、次の中から最も近いものを選べ。



- ① 0.25    ② 0.60    ③ 0.73    ④ 0.85    ⑤ 0.91

I-1-2 ある製品1台の製造工程において検査をX回実施すると、不具合の発生する確率が $1/(X+1)^2$ になると推定されるものとする。検査に要する費用が $(30X)$ 万円であり、不具合の発生による損害が1,875万円と推定されるとすると、検査回数Xを何回に設定すれば総費用が最小となるかを次の中から選べ。

- ① 3回    ② 4回    ③ 5回    ④ 6回    ⑤ 7回

I - 1 - 3 地震時には、図-1のように水平方向の揺れによって交互に慣性力が構造物に作用する。はりと柱から成る骨組構造物がこの力を受けた場合には、結果的に図-2のようにどちらかの方向に「マッチ箱がつぶれるような」破壊（せん断破壊）をすることがある。はりと柱で囲まれた壁の部分が、モルタルなどのひび割れが発生しやすい材料で造られていて、鉄筋などの補強もないものとする。この壁の部分が「単純せん断状態」（せん断応力のみがはりと柱から伝えられる）にあり、ひび割れが主引張応力と直交する方向に発生するものとするならば、骨組の破壊に先立って顕著に発生するであろうひび割れは、理論上どのようなものになると予想されるか。最も適切なもの①～⑤の中から選べ。

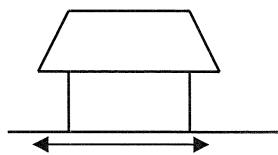


図-1

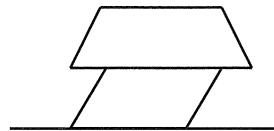
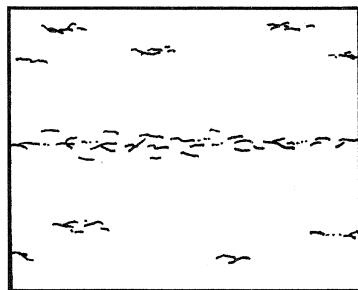
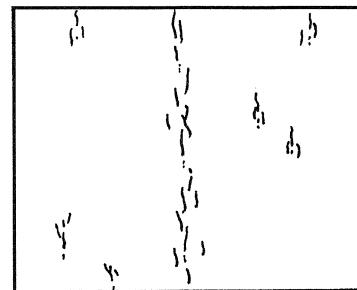


図-2

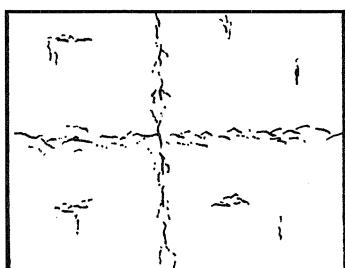
① 水平方向にひび割れが発生



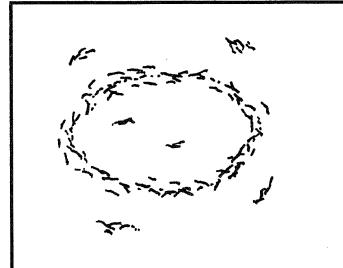
② 鉛直方向にひび割れが発生



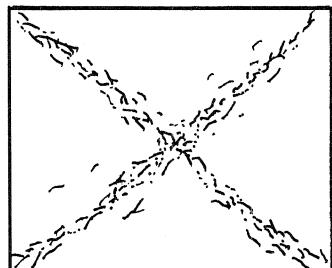
③ ①と②の組合せ



④ 壁の中ほどに円あるいは橿円状のひび割れが発生



⑤ 壁に×状のひび割れが発生



I - 1 - 4 循環型社会に関する次の記述の [ア] ~ [エ] に入る言葉として  
最も適切なものを①~⑤の中から選べ。

循環型社会とは、「第1に製品等が廃棄物等となることを抑制し、第2に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものは適正に処分することが徹底されることにより実現される、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷が低減される社会」である。

廃棄物の発生自体を抑制することを [ア]、いったん使用された製品や部品、容器等を再使用することを [イ]、廃棄物等を再利用することを [ウ] という。これらの3つの頭文字をとって3Rと呼んでいる。

原材料採取から製造、流通、使用、廃棄に至るまでの製品の一生涯で、環境に与える影響を分析し、総合評価する手法を [エ] という。

	ア	イ	ウ	エ
①	リサイクル	リユース	リデュース	ゼロ・エミッഷン
②	リデュース	リユース	リサイクル	ライフサイクル・アセスメント
③	リサイクル	リデュース	リユース	ライフサイクル・アセスメント
④	リデュース	リユース	リサイクル	マテリアル・フロー解析
⑤	リサイクル	リデュース	リユース	マテリアル・フロー解析

I – 1 – 5 ある施設の計画案ア～オがある。これらの計画案による施設の建設によって得られる便益が、将来の社会環境条件 a, b, c により表 1 のように変化するものとする。また、それぞれの計画案に要する建設費用が表 2 に示されるとおりとする。将来の社会環境条件の発生確率が、それぞれ  $a = 60\%$ ,  $b = 30\%$ ,  $c = 10\%$  と予測される場合、期待される価値 (=便益 - 費用) が最も大きくなる計画案を①～⑤の中から選べ。

表 1 (単位 ; 億円)

計画案 条件	ア	イ	ウ	エ	オ
a	5	4	3	6	7
b	4	6	7	4	5
c	3	7	8	3	4

表 2 (単位 ; 億円)

計画案	ア	イ	ウ	エ	オ
建設費用	3	4	3	4	6

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ

## 2群 情報・論理に関するもの (全5問題から3問題を選択解答)

I-2-1 数本の指を使い、それぞれの曲げた状態と伸ばした状態を考える。たとえば2本を使った場合には、次の4通りの状態を表現できる。

人差し指	親指
曲げている	曲げている
曲げている	伸ばしている
伸ばしている	曲げている
伸ばしている	伸ばしている

10本の指を使う場合には、5本の指を使う場合と比べて表現できる状態の数は何倍になるか。

- ① 2倍 ② 4倍 ③ 8倍 ④ 16倍 ⑤ 32倍

I-2-2 データをネットワークで伝送する場合には、ノイズ等の原因で一部のビットが反転する伝送誤りが発生する可能性がある。伝送誤りを検出するために、データの末尾に1ビットの符号を付加して伝送する方法を考える。付加するビットの値は、元のデータの中の値が「1」のビットの数が偶数であれば「0」、奇数であれば「1」とする。

たとえば、元のデータが「1 0 0 1 0 1 1」という7ビットであるとき、値が「1」のビットは4個で偶数である。よって、付加するビットは「0」であり、「1 0 0 1 0 1 1 0」という8ビットを伝送する。

このとき、正しいものを次の中から選べ。

- ① データの中の1ビットが反転したことを検出するためには、元のデータは8ビット以下でなければならない。
- ② データの中の1ビットが反転したことを検出するためには、元のデータは2ビット以上でなければならない。
- ③ データの中の2ビットが反転した場合には、伝送誤りを検出できない。
- ④ 8ビットのデータの中の1ビットが反転した場合には、どのビットが反転したかを特定できる。
- ⑤ データによっては付加するビットの値を決められないことがある。

I – 2 – 3 機械A, Bを用いて材料P, Q, Rを加工したい。材料はいずれも機械A, Bの順に加工しなければならない。機械Aで材料P, Q, Rを加工するのに要する時間はそれぞれ10分, 20分, 13分であり, 機械Bで材料P, Q, Rを加工するのに要する時間はそれぞれ12分, 15分, 5分である。各機械は一度に1つの材料しか加工できない。機械が1つの材料の加工を始めたら, その加工を中断することはできない。2台の機械は, 異なる材料を加工するのであれば, 並行して使用できる。材料が機械間を移動する時間や段取りに要する時間は考えなくてよい。

機械A, Bのいずれにおいても材料をP, Q, Rの順に加工するとしたら, 最初の加工が始まってから最後の加工が終るまでの時間の最小値はいくらか。次の中から選べ。

- ① 32分    ② 43分    ③ 47分    ④ 50分    ⑤ 75分

I – 2 – 4 関数を積分したり, 微分方程式の解を求めたりするときに, 数式処理で解を求めるのでなく数値的に解を求める場合は, 誤差が生ずる。誤差についての記述中の  
[ ]に入る字句の組合せとして最も適切な組合せを①～⑤の中から選べ。

[ア] はコンピュータで扱う数値が有限桁のビットで表されることによる誤差である。

[イ] は本来は無限項から成る式を有限項の式で置き換えることによる誤差である。

ア

イ

- |        |        |
|--------|--------|
| ① 丸め誤差 | 打ち切り誤差 |
| ② 相対誤差 | 打ち切り誤差 |
| ③ 桁落ち  | 丸め誤差   |
| ④ 桁落ち  | 絶対誤差   |
| ⑤ 丸め誤差 | 絶対誤差   |

I – 2 – 5 10進数の「7分の1」を2進表示したものは次のうちどれか。ただし, 小数点以下16位までを表示している。

- ① 0.0101001000100001    ② 0.0011011101111011  
③ 0.0010010010010010    ④ 0.0001010000101000  
⑤ 0.0111000000000000

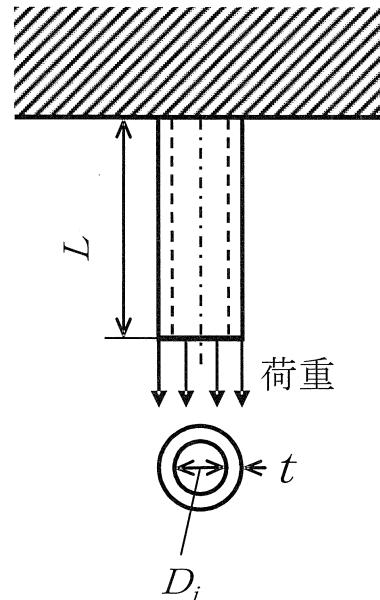
### 3群 解析に関するもの (全5問題から3問題を選択解答)

I - 3 - 1 下図のように上端が固定され、下端に下方向の荷重を受ける中空円筒がある。

この円筒の下端の変位が許容値よりも大きかったので、これを小さくする対策を考える。

下端の変位が最も小さくなるのは次のうち、どの場合か。なお、材料はフックの法則にしたがう弾性体であり、円筒の長さは直径に比較して十分大きいものとする。

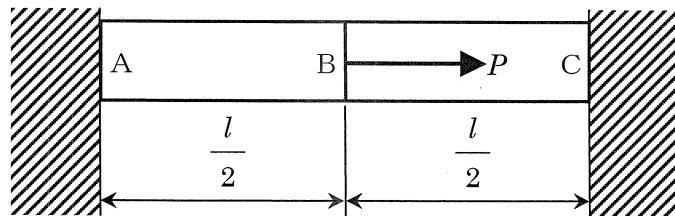
- ① 円筒の長さ  $L$  を2倍にする。
- ② 縦弾性係数  $E$  (ヤング係数) が2倍の材料を使用する。
- ③ 縦弾性係数  $E$  が2分の1の材料を使用する。
- ④ 内径  $D_i$  を変更せずに、肉厚  $t$  を2倍にする。
- ⑤ 肉厚  $t$  を変更せずに、内径  $D_i$  を2倍にする。



I - 3 - 2 材料が線形弾性体であることを仮定した構造物の応力分布を有限要素法により解析するときの要素分割に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選べ。

- ① 応力の変化が大きい部分に対しては、要素分割を細かくすべきである。
- ② 応力の変化が小さい部分に対しては、応力自体の大小にかかわらず要素分割の影響は小さい。
- ③ 粗い要素分割で解析した場合には常に変形は小さくなり応力は高めになるので、応力評価に関しては安全側である。
- ④ 要素分割の影響を見るため、できれば複数の要素分割によって解析を行い、結果を比較するのが望ましい。
- ⑤ ある荷重に対して有効性が確認された要素分割でも、他の荷重に対しては有効とは限らない。

I - 3 - 3 下図に示すような両端を剛体壁に固定された断面積  $S$ , 長さ  $l$  のはりがある。はりを二等分する点をB点とし, AB間, BC間の縦弾性係数(ヤング係数)を  $E_1$ ,  $E_2$  とするとき, 荷重  $P$  がはりの軸方向に負荷された場合の点Bの変位  $\delta$ として正しいものを①～⑤の中から選べ。



- |                                |                              |                              |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ① $\frac{Pl}{2SE_1}$           | ② $\frac{Pl}{2SE_2}$         | ③ $\frac{Pl}{2S(E_1 + E_2)}$ |
| ④ $\frac{3Pl}{2S(2E_1 + E_2)}$ | ⑤ $\frac{Pl}{2S(E_1 - E_2)}$ |                              |

I - 3 - 4 次の数式中にある記号, 【ア】～【ウ】に入れるべきものとして, 適切な組合せを①～⑤の中から選べ。なお,  $a_1, a_2, \dots, a_n (n \geq 1)$  は任意の正の整数であるものとする。

$$\begin{aligned}
 & (1+a_1)(1+a_2)\dots\dots(1+a_n) \\
 & = [\text{ア}] \left(\frac{1}{2} + \frac{a_1}{2}\right) \left(\frac{1}{2} + \frac{a_2}{2}\right) \dots \left(\frac{1}{2} + \frac{a_n}{2}\right) \\
 & = [\text{ア}] \left(1 + \frac{a_1 - 1}{2}\right) \left(1 + \frac{a_2 - 1}{2}\right) \dots \left(1 + \frac{a_n - 1}{2}\right) \\
 & [\text{イ}][\text{ア}] \left(1 + \frac{a_1 - 1}{2} + \frac{a_2 - 1}{2} + \dots + \frac{a_n - 1}{2}\right) \\
 & [\text{イ}][\text{ア}] \left(1 + \frac{a_1 - 1}{n+1} + \frac{a_2 - 1}{n+1} + \dots + \frac{a_n - 1}{n+1}\right) \\
 & = \frac{[\text{ア}]}{[\text{ウ}]} (1 + a_1 + a_2 + \dots + a_n)
 \end{aligned}$$

- | <u>ア</u> | <u>イ</u> | <u>ウ</u> |
|----------|----------|----------|
| ① $2^n$  | =        | $n$      |
| ② $2n$   | $\leq$   | $n$      |
| ③ $2^n$  | $\geq$   | $n$      |
| ④ $2^n$  | $\geq$   | $n+1$    |
| ⑤ $2n$   | $\leq$   | $n+1$    |

I - 3 - 5 気体の定圧熱容量と定積熱容量の比は、通常  $\gamma$  と表示される。空気の  $\gamma$  を求め  
るための次の実験の説明について、ア～ウに入る語句として最も適切  
な組合せを①～⑤の中から選べ。

次頁の図のようにガラス瓶にコルクの栓をし、これに断面積  $A$  のガラス管を垂直上向  
きに立てた後、ガラス管にピストンの役目をする金属球を入れる。ただし、ガラス管と  
金属球との間には隙間が無く、摩擦も無視できるものと仮定する。

金属球が平衡位置から移動したときのアを  $y$  (上方を正とする) とすると、金  
属球によって閉じ込められた空気の体積増加  $\Delta V$  は次式で表される。

$$\Delta V = yA$$

また、このときの内部圧力の変化を  $\Delta P$  とすると、金属球に作用する力 (上方を正とす  
る)  $F$  は

$$F = A\Delta P$$

で与えられる。ここで、空気が理想気体であり、金属球の平衡位置からのずれが十分小  
さいと仮定すると、金属球によって閉じ込められた空気の平衡状態での体積  $\bar{V}$  と圧力  $\bar{P}$   
を用いて

$$\Delta P = -\frac{\gamma \bar{P} \Delta V}{\bar{V}}$$

の関係が成立する。以上の式を用いると  $F$  は以下のように求まる。

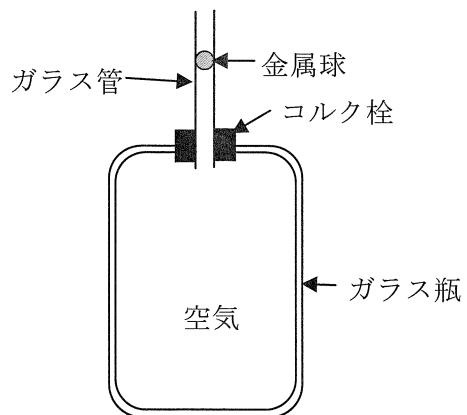
$$F = -\frac{\gamma y \bar{P} A^2}{\bar{V}}$$

本式は、変位に比例する力で金属球がイことを意味する。したがって、金属球は  
ウし、その周期  $\tau$  は次式で与えられる。

$$\tau = \frac{2\pi\sqrt{m\bar{V}}}{\sqrt{\gamma \bar{P} A^2}}$$

ここで、 $m$  は金属球の質量である。この式を用いれば、金属球の周期を測定することに  
よって、空気の  $\gamma$  を求めることができる。

【次頁へ続く】



ア

- ① 平衡位置からのずれ
- ② 位置エネルギーの増大
- ③ 平衡位置からのずれ
- ④ 位置エネルギーの増大
- ⑤ 平衡位置からのずれ

イ

- 引き戻される
- 引き離される
- 引き戻される
- 引き戻される
- 引き離される

ウ

- 単振動
- 放物運動
- 放物運動
- 放物運動
- 単振動

4群 材料・化学・バイオに関するもの (全5問題から3問題を選択解答)

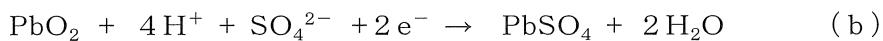
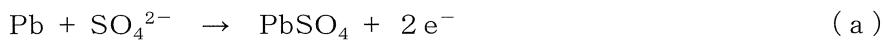
I - 4 - 1 次のア～オの濃度の各水溶液 1 L (リットル) ずつを、①～⑤の組合せで混合するとき、得られる水溶液が酸性になるものを選べ。

- ア 1.0 mol/L 硫酸 ( $\text{H}_2\text{SO}_4$ )
- イ 2.0 mol/L 水酸化ナトリウム ( $\text{NaOH}$ )
- ウ 1.0 mol/L 塩酸 ( $\text{HCl}$ )
- エ 2.0 mol/L アンモニア水 ( $\text{NH}_4\text{OH}$ )
- オ 1.0 mol/L 酢酸 ( $\text{CH}_3\text{COOH}$ )

- ① アとイ
- ② アとエ
- ③ イとウ
- ④ イとオ
- ⑤ エとオ

I - 4 - 2 鉛蓄電池の反応に関する次の文章の [ア]～[オ] に入る語句の組合せとして、最も適切なものを①～⑤の中から選べ。

鉛蓄電池は希硫酸に鉛の電極と二酸化鉛の電極を浸した電池であり、起電力は約 2 V である。放電にともない [ア]において (a) の反応が、[イ]において (b) の反応が生じる。



放電反応では、[ウ] が酸化され、[エ] が還元される。また、放電により硫酸が硫酸鉛になるとともに、希硫酸の密度は [オ] なる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	負極	正極	鉛	酸化鉛	大きく
②	正極	負極	酸化鉛	鉛	大きく
③	負極	正極	酸化鉛	鉛	小さく
④	正極	負極	酸化鉛	硫酸鉛	大きく
⑤	負極	正極	鉛	酸化鉛	小さく

I - 4 - 3 物質や材料の性質に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選べ。

- ① シリカゲルや活性炭には微細な空隙が多数あって、単位質量に対する表面積がきわめて大きく、吸着剤として脱臭・脱色などに使われる。
- ② 天然ガスの主成分はベンゼンであり、冷却圧縮して液体にしたもの液化天然ガス LNGという。LNGは都市ガス用や化学工業の原材料などに使われる。
- ③ 銅は赤色光沢のある金属で、電気・熱の良導体である。乾燥した空气中では常温で変化しにくいが、湿気のある空气中では酸化されて緑青を生じる。
- ④ 酸化チタンに紫外線が当たると、光化学反応を起こし、このとき生じる活性酸素はさまざまな有機物を分解し、抗菌や脱臭、汚れ防止などの効果をもたらす。
- ⑤ ステンレス鋼にはクロムが含まれており、表面にクロムの酸化皮膜ができ、これが不動態となるため優れた耐食性を示す。

I - 4 - 4 植物がその体をつくり、また体内の化学反応をバランスよく進めるためには、一般に少なくとも16種類の元素（炭素、酸素、水素、窒素、リン、カリウム、カルシウム、マグネシウム、イオウ、鉄、マンガン、ホウ素、亜鉛、モリブデン、銅、塩素）が必要とされている。質量でそれぞれ乾燥植物体のほぼ0.1%以上を占める9元素を微量元素と呼び、それ以下の7元素を微量元素といいう。これら元素について、植物と肥料に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選べ。

- ① 16元素のうち炭素、酸素、水素は、光合成の原料になる二酸化炭素と水から取り込まれるので、補給の必要はない。
- ② 肥料とは、農作物の収量を増やしたり、成長に不足しがちな元素を植物に補給するために与える物質である。
- ③ 天然肥料を施すと、含まれている有機物の酸化反応によって二酸化炭素を生じるが、土壤を酸性化させることはない。
- ④ 化学肥料には、窒素、リン、カリウムのどれかを主成分とした無機化合物が多い。
- ⑤ 微量元素は、植物体内の酵素の成分として含まれるものや、酵素の活性化、光合成などに必須なものが多い。

I - 4 - 5 遺伝子操作に関する次の文章の [ア] ~ [エ] に入る語句の組合せとして、適切なものを①～⑤の中から選べ。

運搬体となるDNA、すなわち [ア] に酵素などを用いて異種のDNAを試験管内で組み込み、これを宿主細胞内に導入することを組換えDNA実験といい、このようにして得られたDNAを組換え体DNAと呼ぶ。多くの組換え体の中から同一の遺伝情報をもつDNAを単離することを [イ] という。遺伝子組換えに用いられる酵素には、DNAを合成するためのDNAポリメラーゼ、RNAを鑄型としてDNAを合成する逆転写酵素、DNAを特定の塩基配列の部分で切断する種々の [ウ]、DNAの断片を連結するDNA [エ] などがある。

	[ア]	[イ]	[ウ]	[エ]
①	ベクター	クローニング	制限酵素	リガーゼ
②	ベクター	スクリーニング	分解酵素	リバーゼ
③	ベクター	クローニング	分解酵素	リガーゼ
④	プローブ	スクリーニング	制限酵素	リガーゼ
⑤	プローブ	クローニング	分解酵素	リバーゼ

## 5群 技術連関 (全5問題から3問題を選択解答)

I-5-1 電気エネルギーの貯蔵や発電に関する次の記述のうち、下線部が最も不適切なものを選べ。

- ① 天然ガス複合発電では、天然ガスの燃焼ガスのエネルギーを利用してまず蒸気タービンを駆動し、その排熱を用いてガスタービンを駆動することにより、総合的な発電効率を上げている。
- ② 一次電池とは、マンガン乾電池のように一度で使いきりとなり、再び使用できない電池のことであり、二次電池とは、リチウムイオン電池やNi-Cd電池のように、充電して再び使用することのできる電池のことをいう。
- ③ 電気二重層キャパシタは急速な充放電が可能であり、充放電サイクル寿命が優れた蓄電デバイスである。近年、ハイブリッド自動車や燃料電池車でエネルギーの有効利用を目的とした電気二重層キャパシタの搭載が検討されている。
- ④ 揚水発電は、夜間の余剰電力で貯水池などにある低所の水を高所にくみ上げ、その位置エネルギーを利用して昼間に発電するものであり、電気エネルギーを貯蔵するシステムといえる。
- ⑤ 燃料電池は、「水の電気分解」と逆の原理で発電する。水の電気分解は、水に外部から電気を通して水素と酸素に分解するが、多くの燃料電池は、水素と酸素を電気化学反応させて電気を作る。

I-5-2 わが国の資源やリサイクルに関する次の(ア)～(エ)の記述について、正誤の組合せとして最も適切なものを①～⑤の中から選べ。

- (ア) 石油などの化石燃料の自給率は低いが、金属鉱物資源は豊富であり、とくに銅鉱石の自給率は現在でも50%以上（銅の含分として計算）である。
- (イ) PET（ポリエチレンテレフタレート）ボトルは焼却するとダイオキシンが大量に生成することが知られているため、分別回収、洗浄して再使用することが進められ、その割合は回収量の20%を超えている。
- (ウ) 使用済みの飲料用アルミニウム缶は、80%以上が回収され、その過半がアルミニウム缶の原料として利用されている。また、回収した使用済みアルミニウム缶を融解して再生地金を得るほうが、鉱石を製錬して新地金を得るよりも、同量のアルミニウムあたりのエネルギー消費が少なくてすむ。
- (エ) 自動車の排出ガス浄化のための触媒や燃料電池に用いられる白金は、その物性上リサイクルすることが困難であるが、金に比べて資源埋蔵量が格段に豊富で安価であり、環境保全対策技術のコスト低減のために大量に利用されている。

	<u>ア</u>	<u>イ</u>	<u>ウ</u>	<u>エ</u>
①	正	正	正	誤
②	誤	誤	正	誤
③	正	誤	誤	正
④	誤	正	正	正
⑤	誤	誤	誤	正

I-5-3 ppm (ピー・ピー・エム) とは, parts per millionの略で, 環境中の物質の濃度を表現する際によく用いられる単位であり, 質量比, 体積比のいずれにも適用される。次の(ア), (イ)で述べた2つの濃度a, bの関係のうち, 適切なものを①~⑤の中から選べ。

(ア) 深さ1m, 長さ20m, 幅10mのプールに満たされた純水に, 1kgの食塩を均一に溶かしたときにできる食塩水の濃度をa (ppm)とする。ただし, 濃度は質量比とする。

(イ) 縦6m, 横5m, 高さ4mの密閉された1気圧の部屋の中で, 1リットル, 1.2気圧のヘリウムの入った風船が破裂し, ヘリウムが部屋の空気と均一に混ざったときの部屋の空気中のヘリウム濃度をb (ppm)とする。ただし, 濃度は体積比とし, 空気中には風船の破裂前に5ppmのヘリウムが含まれていたものとする。

- ①  $a = 2b$     ②  $a = b$     ③  $a < b < 2a$     ④  $2a < b < 5a$     ⑤  $10a < b$

I-5-4 保全に関する次の文章の [ア] ~ [オ] に入る語句の組合せとして, 適切なものを①~⑤の中から選べ。

設備や機械などの対象(以下, アイテムと記す)を運用可能状態で維持し, 故障などを回復するための処置及び活動は, 保全と呼ばれる。保全は, アイテムが使用中に故障することを未然に防止するために, 規定の間隔や基準に従ってアイテムの機能劣化や故障の確率を低減するという [ア] 保全と, フォールトの発見後にアイテムを要求機能遂行状態に修復する [イ] 保全とに大別される。また, [ア] 保全は, 定められた時間計画に従って行う時間計画保全と, アイテムの動作状態や劣化傾向のモニタリングに基づいて行う [ウ] 保全とに分けられる。さらに, 時間計画保全は, 予定の時間間隔で行う [エ] 保全と, アイテムが予定の累積動作時間に達したときに行う [オ] 保全とに分けられる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	定期	事後	経時	状態監視	予防
②	状態監視	経時	予防	定期	事後
③	定期	経時	予防	状態監視	事後
④	予防	事後	状態監視	定期	経時
⑤	予防	定期	状態監視	経時	事後

I－5－5 知的財産基本法（平成15年7月改正）に関する次の記述のうち、最も不適切なものを選べ。

- ① この法律は、知的財産の創造、保護及び活用に関し、基本理念及びその実現を図るために基本となる事項を定めたものである。
- ② この法律で、知的財産とは、発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの、商標、商号などの情報をいう。
- ③ この法律で知的財産権とは、特許権、実用新案権、育成者権、意匠権、著作権、商標権その他の知的財産に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益に係る権利をいう。
- ④ 国は、知的財産の創造、保護及び活用に関する基本理念にのっとり、知的財産の創造、保護及び活用に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。
- ⑤ 知的財産の創造、保護及び活用に関する施策の推進は、創造性のある研究及び開発の成果の共有化を図り、世界の産業の持続的発展に寄与するものとなることを旨として、行われなければならない。